

学生確保の見通し等を記載した書類

資 料 目 次

資料1.	アンケート調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
資料2.	大学院教育に関するアンケート調査（学部生・大学院生）・・	3
資料3.	大学院教育に関するアンケート調査（他学部生・他研究科大 大学院生）・・・・・・・・・・・・・・・・	10
資料4.	大学院教育に関するアンケート調査（医療従事者等）・・・・	17
資料5.	大学院教育に関するアンケート調査（医療機関・企業）・・・・	22
資料6.	新しい専攻の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	28

別添資料 1

アンケート概要

<入口調査>

アンケート方法：Google Forms による回答

アンケート期間：令和 7 年 9 月 12 日～10 月 3 日

アンケート 1

対 象：東北大学医学部・医学系研究科修士課程・前期 2 年の課程 (1,527 人)

回答数：447 人（回収率：29.3%）

アンケート 2

対 象：東北大学他学部（理学部、歯学部、薬学部、農学部）・他研究科
（理学研究科、歯学研究科、薬学研究科、農学研究科）修士課程・
前期 2 年の課程

回答数：105 人

アンケート 3

対 象：東北大学病院及び良陵令和会（合計 27 病院）に勤務する医療従事者

回答数：223 人

<出口調査>

アンケート方法：Google Forms による回答

アンケート期間：令和 7 年 9 月 12 日～10 月 3 日

対 象：本学の修了生を採用している医療機関・企業（133 社）

回答数：22 社（回収率：16.5%）



東北大学大学院医学系研究科の大学院 教育に関するアンケート調査

学部生・大学院生のみなさんへ

【回答期限】令和7年10月3日（金）

東北大学大学院医学系研究科は現在、医科学専攻、障害科学専攻、保健学専攻、公衆衛生学専攻の4専攻を設置し、専攻ごとに高度な大学院教育の実践に取り組んでおります。一方近年、感染症パンデミック等医学・医療を取り巻く情勢は大きく変化しており、AIなど新しい学術領域も急速に発展しています。また、社会では多様な知を理解し活用する力「総合知」を持った人材を求める声が急速に高まっており、政府、産業界等からも様々な提言が出されております。

そこで東北大学大学院医学系研究科では、これまでの4専攻を1専攻体制（総合医学専攻）に再編し、新組織・新カリキュラムのもとでの大学院教育を、令和9年4月にスタートさせる予定で準備を進めております。

つきましては、専攻再編検討の参考とするため、下記のとおりアンケート調査を実施させていただきますので、どうかご協力をお願いいたします。

[こちら](#)に【新しい専攻の概要】資料を掲載しておりますので、内容をご確認のうえ、アンケートへの回答をお願いいたします。

協力はあくまで任意です。

本アンケートでご回答いただいた内容は統計的に処理し、特定の個人を識別できる情報が公表されることは一切ございません。

ご記入いただいた情報は適切に管理し、本調査の目的以外で利用することはありませんので、ご協力をお願いいたします。

 [アカウントを切り替える](#)



* 必須の質問です

メール *

☐ 返信に表示するメールアドレスとして  を記録する



1. あなたについてお聞きします。

1. あなたの所属を教えてください。 *

- ☐ 学部生（医学部医学科）
- ☐ 学部生（医学部保健学科 看護学専攻）
- ☐ 学部生（医学部保健学科 放射線技術科学専攻）
- ☐ 学部生（医学部保健学科 検査技術科学専攻）
- ☐ 大学院生（医科学専攻 修士課程）
- ☐ 大学院生（障害科学専攻 前期2年の課程）
- ☐ 大学院生（保健学専攻 前期2年の課程 看護学コース）
- ☐ 大学院生（保健学専攻 前期2年の課程 放射線技術科学コース）
- ☐ 大学院生（保健学専攻 前期2年の課程 検査技術科学コース）
- ☐ 大学院生（公衆衛生学専攻 修士課程）

1-1. 学年を教えてください。 *

- ☐ 学部 1 年
- ☐ 学部 2 年
- ☐ 学部 3 年
- ☐ 学部 4 年
- ☐ 学部 5 年
- ☐ 学部 6 年
- ☐ 前期2年・修士課程 1 年
- ☐ 前期2年・修士課程 2 年



II. 大学院教育についてお聞きします。

2. あなたが大学院に進学した場合に身につけたい能力はなんですか。以下 *
の項目 (A～I) について、当てはまる程度を次の1.～5.のうちから選択してください。

1. 大いに身につけたい 2. 身につけた 3. あまり身につけたくない 4. 全く身につけたくない 5. わからない

A) 多様な知
を理解し活用
する力（総合
知）

☐☐☐☐☐

B) 専門学術
領域に関する
知識・技術

☐☐☐☐☐

C) 周辺領域
を含めた幅広
い知識

☐☐☐☐☐

D) AI等新た
な学術領域の
知識

☐☐☐☐☐

E) 多様性や
ハラスメント
等社会的課題
への理解

☐☐☐☐☐

F) 課題を自
ら解決できる
実践力

☐☐☐☐☐

G) 柔軟で広
い視野の育成

☐☐☐☐☐

H) 英語力や
国際性

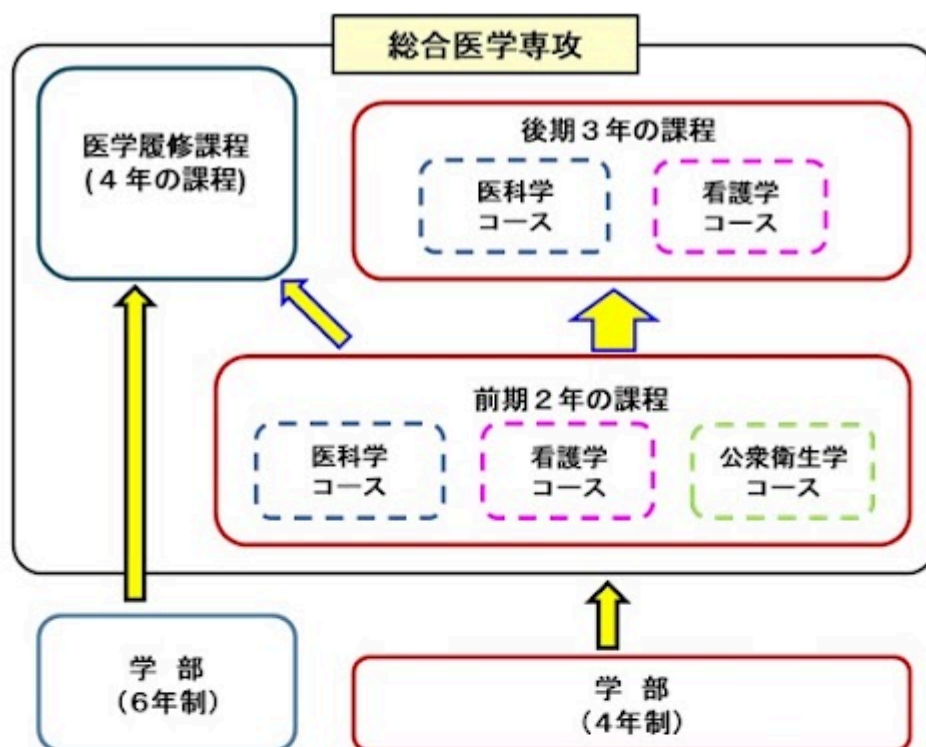
☐☐☐☐☐

I) 高い倫理性

☐☐☐☐☐

III. 再編後の当研究科への進学についてお聞きします。

各課程・コースについては以下をご参照ください。



医学履修課程

豊かな学識・教養、高度な専門的知識、総合知を活用して医学・医療を学際的に発展させる能力を有し、自立して独創的な研究を遂行・指導することができ、社会的ニーズを俯瞰的視野で踏まえつつ、高い倫理観と強い責任感を持って医療・医学の発展に貢献し、高度な国際的視野とコミュニケーション力で世界の研究を先導する人材を育成

医科学コース

基礎医学、臨床医学、障害科学、保健学等の専門知識と学際的視野を併せ持ち、国際性と高い倫理観を有し、多職種連携の中で医科学研究を推進できる人材を育成

看護学コース

看護学の教育・研究者及び保健師・助産師を養成するとともに、高度実践看護師の養成も行う

公衆衛生学コース

公衆衛生学の専門知識と研究手法を習得し、人々の健康増進と疾病予防に貢献できる公衆衛生専門家を養成。公衆衛生学修士（Master of Public Health）の取得を目的とする

3. 再編後の当研究科への進学について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。 *

※ 医学履修課程（4年の課程）または前期2年の課程への進学を念頭にお答えください。

- ☐ ぜひ進学したい
- ☐ できれば進学したい
- ☐ 関心がある
- ☐ 進学は希望しない

3-1. 質問3で「ぜひ進学したい」「できれば進学したい」「関心がある」を選択した方にお聞きします。

再編後のどの課程・コースに進学したいと考えますか。最も希望するものを1つ挙げてください

- ☐ 医学履修課程（4年の課程）
- ☐ 前期2年の課程 医科学コース
- ☐ 前期2年の課程 看護学コース
- ☐ 前期2年の課程 公衆衛生学コース

IV. 専攻再編構想全般に関して、ご意見がありましたらお書きください。

回答を入力

質問は以上となります。
ご協力いただきありがとうございました。



次へ

フォームをク



3. 再編後の当研究科への進学について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。 *

※ 前期2年の課程への進学を念頭にお答えください。

- ☐ ぜひ進学したい
- ☐ できれば進学したい
- ☐ 関心がある
- ☐ 進学は希望しない

3-1. 質問3で「ぜひ進学したい」「できれば進学したい」「関心がある」を選択した方にお聞きします。

再編後のどの課程・コースに進学したいと考えますか。最も希望するものを1つ挙げてください

- ☐ 前期2年の課程 医科学コース
- ☐ 前期2年の課程 看護学コース
- ☐ 前期2年の課程 公衆衛生学コース

IV. 専攻再編構想全般に関して、ご意見がありましたらお書きください。

回答を入力

質問は以上となります。
ご協力いただきありがとうございました。

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。



このフォームは 国立大学法人東北大学 内部で作成されました。



3. 再編後の当研究科への進学について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。 *

※ 後期3年の課程または医学履修課程への進学を念頭にお答えください。

- ☐ ぜひ進学したい
- ☐ できれば進学したい
- ☐ 関心がある
- ☐ 進学は希望しない

3-1. 質問3で「ぜひ進学したい」「できれば進学したい」「関心がある」を選択した方にお聞きします。

再編後のどの課程・コースに進学したいと考えますか。最も希望するものを1つ挙げてください

- ☐ 後期3年の課程 医科学コース
- ☐ 後期3年の課程 看護学コース
- ☐ 医学履修課程（4年の課程）

IV. 専攻再編構想全般に関して、ご意見がありましたらお書きください。

回答を入力

質問は以上となります。
ご協力いただきありがとうございました。

回答のコピーが ryoko.satori.c8@tohoku.ac.jp にメールで送信されます。





東北大学大学院医学系研究科の大学院 教育に関するアンケート調査

東北大学 学部生・大学院生のみなさんへ

【回答期限】令和7年10月3日（金）

東北大学大学院医学系研究科は現在、医科学専攻、障害科学専攻、保健学専攻、公衆衛生学専攻の4専攻を設置し、専攻ごとに高度な大学院教育の実践に取り組んでおります。一方近年、感染症パンデミック等医学・医療を取り巻く情勢は大きく変化しており、AIなど新しい学術領域も急速に発展しています。また、社会では多様な知を理解し活用する力「総合知」を持った人材を求める声が急速に高まっており、政府、産業界等からも様々な提言が出されております。

そこで東北大学大学院医学系研究科では、これまでの4専攻を1専攻体制（総合医学専攻）に再編し、新組織・新カリキュラムのもとでの大学院教育を、令和9年4月にスタートさせる予定で準備を進めております。

つきましては、専攻再編検討の参考とするため、下記のとおりアンケート調査を実施させていただきますので、どうかご協力をお願いいたします。

[こちら](#)に【新しい専攻の概要】資料を掲載しておりますので、内容をご確認のうえ、アンケートへの回答をお願いいたします。

協力はあくまで任意です。

本アンケートでご回答いただいた内容は統計的に処理し、特定の個人を識別できる情報が公表されることは一切ございません。

ご記入いただいた情報は適切に管理し、本調査の目的以外で利用することはありませんので、ご協力をお願いいたします。

アカウントを切り替える



* 必須の質問です

メール *

☐ 返信に表示するメールアドレスとして [redacted] を記録する



1. あなたについてお聞きします。

1. あなたの所属を教えてください。 *

- ☐ 学部生（理学部）
- ☐ 学部生（歯学部）
- ☐ 学部生（薬学部 創薬科学科）
- ☐ 学部生（薬学部 薬学科）
- ☐ 学部生（農学部）
- ☐ 大学院生（理学研究科 博士課程前期 2 年の課程）
- ☐ 大学院生（歯学研究科 修士課程）
- ☐ 大学院生（薬学研究科 博士課程前期 2 年の課程）
- ☐ 大学院生（農学研究科 博士課程前期 2 年の課程）

1-1. 学年を教えてください。 *

- ☐ 学部 1 年
- ☐ 学部 2 年
- ☐ 学部 3 年
- ☐ 学部 4 年
- ☐ 学部 5 年
- ☐ 学部 6 年
- ☐ 前期 2 年・修士課程 1 年
- ☐ 前期 2 年・修士課程 2 年



II. 大学院教育についてお聞きします。

2. あなたが大学院に進学した場合に身につけたい能力はなんですか。以下 *
の項目 (A～I) について、当てはまる程度を次の1.～5.のうちから選択してください。

1. 大いに身につけたい 2. 身につけた 3. あまり身につけたくない 4. 全く身につけたくない 5. わからない

A) 多様な知
を理解し活用
する力（総合
知）

☐☐☐☐☐

B) 専門学術
領域に関する
知識・技術

☐☐☐☐☐

C) 周辺領域
を含めた幅広
い知識

☐☐☐☐☐

D) AI等新た
な学術領域の
知識

☐☐☐☐☐

E) 多様性や
ハラスメント
等社会的課題
への理解

☐☐☐☐☐

F) 課題を自
ら解決できる
実践力

☐☐☐☐☐

G) 柔軟で広
い視野の育成

☐☐☐☐☐

H) 英語力や
国際性

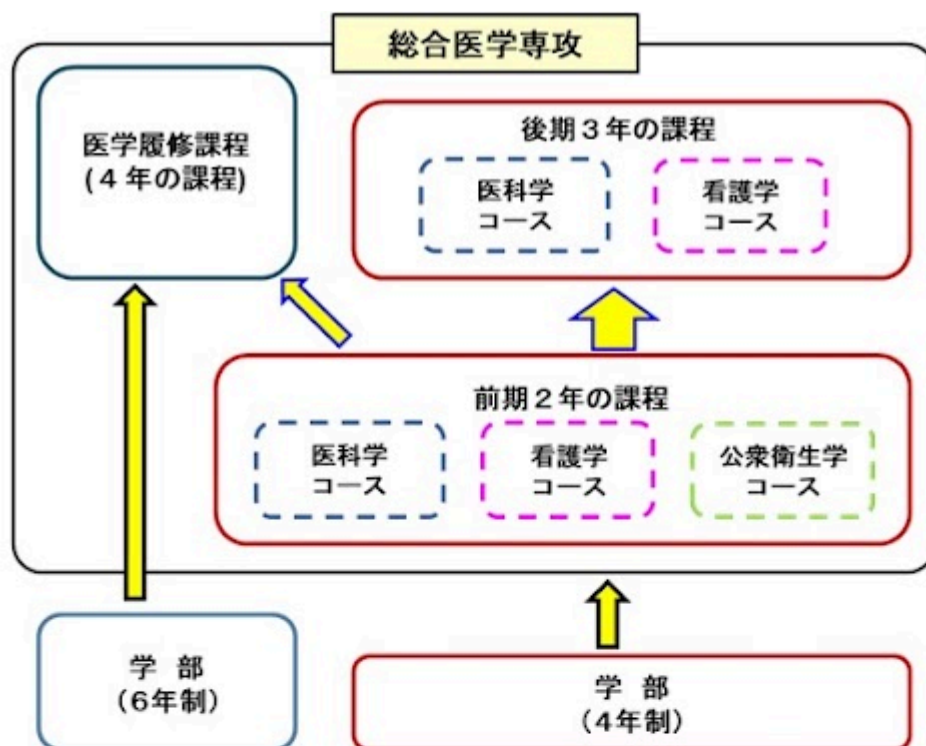
☐☐☐☐☐

I) 高い倫理性

☐☐☐☐☐

III. 再編後の当研究科への進学についてお聞きします。

各課程・コースについては以下をご参照ください。



医学履修課程

豊かな学識・教養、高度な専門的知識、総合知を活用して医学・医療を学際的に発展させる能力を有し、自立して独創的な研究を遂行・指導することができ、社会的ニーズを俯瞰的視野で踏まえつつ、高い倫理観と強い責任感を持って医療・医学の発展に貢献し、高度な国際的視野とコミュニケーション力で世界の研究を先導する人材を育成

医科学コース

基礎医学、臨床医学、障害科学、保健学等の専門知識と学際的視野を併せ持ち、国際性と高い倫理観を有し、多職種連携の中で医科学研究を推進できる人材を育成

看護学コース

看護学の教育・研究者及び保健師・助産師を養成するとともに、高度実践看護師の養成も行う

公衆衛生学コース

公衆衛生学の専門知識と研究手法を習得し、人々の健康増進と疾病予防に貢献できる公衆衛生専門家を養成。公衆衛生学修士（Master of Public Health）の取得を目的とする

3. 再編後の当研究科への進学について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。 *

- ☐ ぜひ進学したい
- ☐ できれば進学したい
- ☐ 関心がある
- ☐ 進学は希望しない

3-1. 質問3で「ぜひ進学したい」「できれば進学したい」「関心がある」を選択した方にお聞きします。

再編後のどの課程・コースに進学したいと考えますか。最も希望するものを1つ挙げてください

- ☐ 前期2年の課程 医科学コース
- ☐ 前期2年の課程 看護学コース
- ☐ 前期2年の課程 公衆衛生学コース

IV. 専攻再編構想全般に関して、ご意見がありましたらお書きください。

回答を入力

質問は以上となります。
ご協力いただきありがとうございました。

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 国立大学法人東北大学 内部で作成されました。



Google フォーム



3. 再編後の当研究科への進学について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。 *

- ☐ ぜひ進学したい
- ☐ できれば進学したい
- ☐ 関心がある
- ☐ 進学は希望しない

3-1. 質問3で「ぜひ進学したい」「できれば進学したい」「関心がある」を選択した方にお聞きします。

再編後のどの課程・コースに進学したいと考えますか。最も希望するものを1つ挙げてください

- ☐ 前期2年の課程 医科学コース
- ☐ 前期2年の課程 看護学コース
- ☐ 前期2年の課程 公衆衛生学コース
- ☐ 医学履修課程（4年の課程）

IV. 専攻再編構想全般に関して、ご意見がありましたらお書きください。

回答を入力

質問は以上となります。
ご協力いただきありがとうございました。

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。



このフォームは 国立大学法人東北大学 内部で作成されました。



3. 再編後の当研究科への進学について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。 *

- ☐ ぜひ進学したい
- ☐ できれば進学したい
- ☐ 関心がある
- ☐ 進学は希望しない

3-1. 質問3で「ぜひ進学したい」「できれば進学したい」「関心がある」を選択した方にお聞きします。

再編後のどの課程・コースに進学したいと考えますか。最も希望するものを1つ挙げてください

- ☐ 後期3年の課程 医科学コース
- ☐ 後期3年の課程 看護学コース
- ☐ 医学履修課程（4年の課程）

IV. 専攻再編構想全般に関して、ご意見がありましたらお書きください。

回答を入力

質問は以上となります。
ご協力いただきありがとうございました。

回答のコピーが ryoko.satori.c8@tohoku.ac.jp にメールで送信されます。

送信

フォームをクリア

 Google フォームでパスワードを送信しないでください。





東北大学大学院医学系研究科の大学院 教育に関するアンケート調査

社会人（医療従事者・関係者）のみなさまへ

【回答期限】 令和7年10月3日（金）

東北大学大学院医学系研究科は現在、医科学専攻、障害科学専攻、保健学専攻、公衆衛生学専攻の4専攻を設置し、専攻ごとに高度な大学院教育の実践に取り組んでおります。一方近年、感染症パンデミック等医学・医療を取り巻く情勢は大きく変化しており、AIなど新しい学術領域も急速に発展しています。また、社会では多様な知を理解し活用する力「総合知」を持った人材を求める声が急速に高まっており、政府、産業界等からも様々な提言が出されております。

そこで東北大学大学院医学系研究科では、これまでの4専攻を1専攻体制（総合医学専攻）に再編し、新組織・新カリキュラムのもとでの大学院教育を、令和9年4月にスタートさせる予定で準備を進めております。

つきましては、専攻再編検討の参考とするため、下記のとおりアンケート調査を実施させていただきますので、どうかご協力をお願いいたします。

[こちら](#)に【新しい専攻の概要】資料を掲載しておりますので、内容をご確認のうえ、アンケートへの回答をお願いいたします。

協力はあくまで任意です。

本アンケートでご回答いただいた内容は統計的に処理し、特定の個人を識別できる情報が公表されることは一切ございません。

ご記入いただいた情報は適切に管理し、本調査の目的以外で利用することはありませんので、ご協力をお願いいたします。

 [アカウントを切り替える](#)



* 必須の質問です



メールアドレス *

メールアドレス

Ⅰ. あなたについてお聞きします。

1-1. あなたの職業を教えてください。 *

- ☐ 臨床研修医 1 年
- ☐ 臨床研修医 2 年
- ☐ その他の医師
- ☐ 看護師・助産師・保健師
- ☐ 医療技術者
- ☐ 薬剤師
- ☐ その他: _____

1-2. あなたがお持ちの学位を教えてください。 *

- ☐ 学士
- ☐ 修士
- ☐ 博士
- ☐ その他



II. 大学院教育についてお聞きします。

2. あなたが大学院に進学した場合に身につけたい能力はなんですか。以下 *
の項目 (A～I) について、当てはまる程度を次の1.～5.のうちから選択して
ください。

1. 大いに身に 2. 身につけた 3.あまり身に 4. 全く身に 5. わからない
つけたい い つけたくない つけたくない

A) 多様な知
を理解し活用
する力（総合
知）

☐☐☐☐☐

B) 専門学術
領域に関する
知識・技術

☐☐☐☐☐

C) 周辺領域
を含めた幅広
い知識

☐☐☐☐☐

D) AI等新た
な学術領域の
知識

☐☐☐☐☐

E) 多様性や
ハラスメント
等社会的課題
への理解

☐☐☐☐☐

F) 課題を自
ら解決できる
実践力

☐☐☐☐☐

G) 柔軟で広
い視野の育成

☐☐☐☐☐

H) 英語力や
国際性

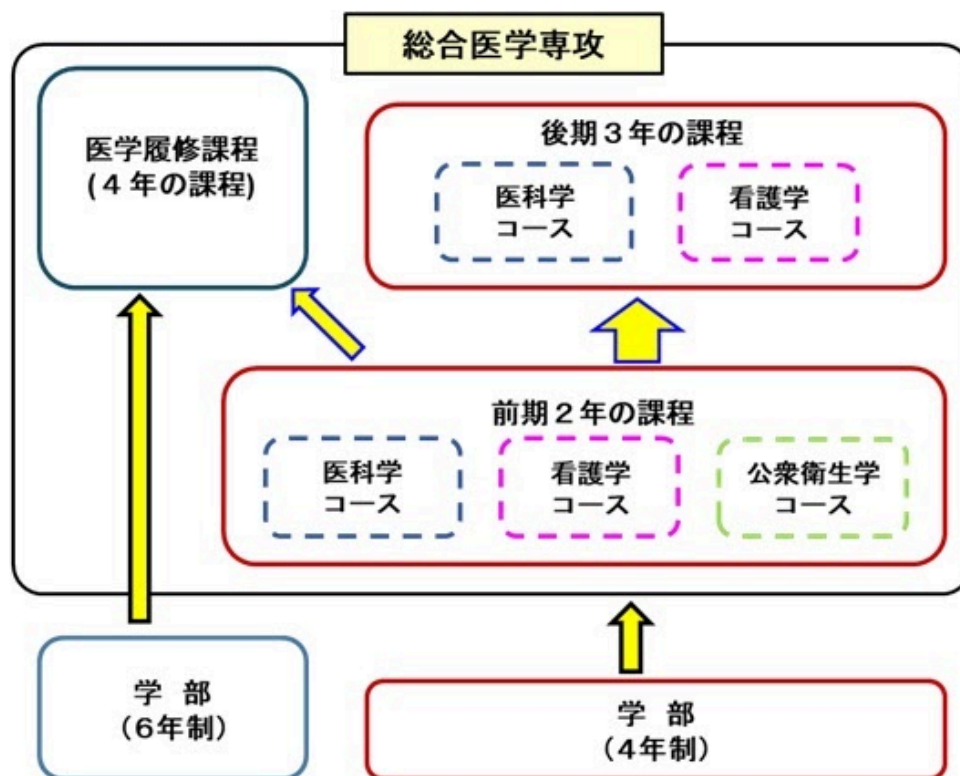
☐☐☐☐☐

I) 高い倫理性

☐☐☐☐☐

III. 再編後の当研究科への進学についてお聞きします。

各課程・コースについては以下をご参照ください。



医学履修課程

豊かな学識・教養、高度な専門的知識、総合知を活用して医学・医療を学際的に発展させる能力を有し、自立して独創的な研究を遂行・指導することができ、社会的ニーズを俯瞰的視野で踏まえつつ、高い倫理観と強い責任感を持って医療・医学の発展に貢献し、高度な国際的視野とコミュニケーション力で世界の研究を先導する人材を育成

医科学コース

基礎医学、臨床医学、障害科学、保健学等の専門知識と学際的視野を併せ持ち、国際性と高い倫理観を有し、多職種連携の中で医科学研究を推進できる人材を育成

看護学コース

看護学の教育・研究者及び保健師・助産師を養成するとともに、高度実践看護師の養成も行う

公衆衛生学コース

公衆衛生学の専門知識と研究手法を習得し、人々の健康増進と疾病予防に貢献できる公衆衛生専門家を養成。公衆衛生学修士（Master of Public Health）の取得を目的とする

3. 再編後の当研究科への進学について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。 *

- ☐ ぜひ進学したい
- ☐ できれば進学したい
- ☐ 関心がある
- ☐ 進学は希望しない

3-1. 質問3で「ぜひ進学したい」「できれば進学したい」「関心がある」を選択した方にお聞きします。

再編後のどの課程・コースに進学したいと考えますか。最も希望するものを1つ挙げてください

- ☐ 前期2年の課程 医科学コース
- ☐ 前期2年の課程 看護学コース
- ☐ 前期2年の課程 公衆衛生学コース
- ☐ 後期3年の課程 医科学コース
- ☐ 後期3年の課程 看護学コース
- ☐ 医学履修課程（4年の課程）

IV. 専攻再編構想全般に関して、ご意見がありましたらお書きください。

回答を入力

質問は以上となります。
ご協力いただきありがとうございました。

回答のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。





東北大学大学院医学系研究科の大学院 教育に関するアンケート調査

本学の修了生を採用（非常勤も含む）されている 医療機関・企業の皆様へ

【回答期限】令和7年10月3日（金）

東北大学大学院医学系研究科は現在、医科学専攻、障害科学専攻、保健学専攻、公衆衛生学専攻の4専攻を設置し、専攻ごとに高度な大学院教育の実践に取り組んでおります。一方近年、感染症パンデミック等医学・医療を取り巻く情勢は大きく変化しており、AIなど新しい学術領域も急速に発展しています。また、社会では学際的な医学研究の活性化や、多様な知を理解し活用する力「総合知」を持った人材を求める声が急速に高まっており、政府、産業界、医学会等からも様々な提言が出されております。

そこで東北大学大学院医学系研究科では、これまでの4専攻を1専攻体制（総合医学専攻）に再編し、新組織・新カリキュラムのもとでの大学院教育を、令和9年4月にスタートさせる予定で準備を進めております。

つきましては、専攻再編検討の参考とするため、下記のとおりアンケート調査を実施させていただきますので、どうかご協力をお願いいたします。

[こちら](#)に【新しい専攻の概要】資料を掲載しておりますので、内容をご確認のうえ、アンケートにご回答くださいますようお願い申し上げます。

本アンケートでご回答いただいた内容は統計的に処理し、特定の個人を識別できる情報が公表されることは一切ございません。

また、ご記入いただいた情報は適切に管理し、本調査の目的以外で利用することはございませんので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

アカウントを切り替える



*** 必須の質問です**

メールアドレス *

メールアドレス



I. 貴機関についてお尋ねいたします。

1. 貴機関の業種について最も該当するものを1つ選択してください。 *

- ☐ 病院・医療機関
- ☐ 臨床検査会社
- ☐ 大学・教育・研究機関
- ☐ 保健・行政機関
- ☐ 国際機関
- ☐ 医薬品企業
- ☐ 医療機器関連企業
- ☐ その他: _____



II. 大学院教育についてお聞きます。

2. 貴機関において大学院修了生を採用するにあたり、以下の項目（A～I）^{*}の重要度を次の1.～5.のうちから選択してください。

1. 大変重要である 2. やや重要である 3. あまり重要ではない 4. 全く重要ではない 5. わからない

A) 専門学術領域に関する知識・技術	☐	☐	☐	☐	☐
B) 周辺領域を含めた幅広い知識	☐	☐	☐	☐	☐
C) 多様な知を理解し活用する力（総合知）	☐	☐	☐	☐	☐
D) AI等新たな学術領域の知識	☐	☐	☐	☐	☐
E) 多様性やハラスメント等社会的課題への理解	☐	☐	☐	☐	☐
F) 課題を自ら解決できる実践力	☐	☐	☐	☐	☐
G) 柔軟で広い視野	☐	☐	☐	☐	☐
H) 英語力や国際性	☐	☐	☐	☐	☐
I) 高い倫理性	☐	☐	☐	☐	☐



Ⅲ. 東北大学大学院医学系研究科の専攻再編等についてお聞きします。

従来の4専攻体制を1専攻（総合医学専攻）へ再編し、総合知を形成しつつ高度な専門教育を発展させることを計画しています。[こちら](#)の【新しい専攻の概要】を参考に、以下の質問にお答えください。

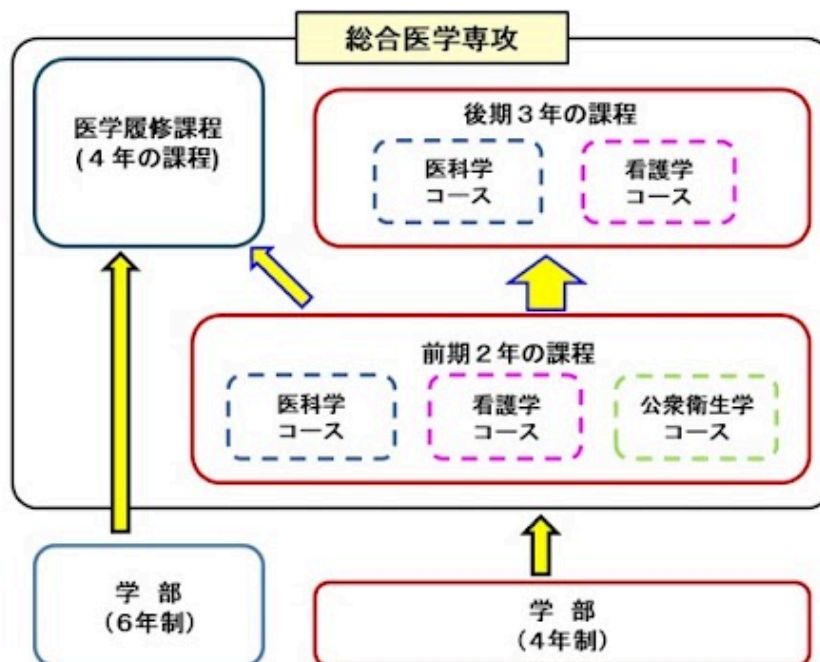
3-1. 再編後の総合医学専攻で養成する人材像は社会的に求められていると *
お考えでしょうか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ☐ 大いに求められている
- ☐ ある程度求められている
- ☐ あまり求められていない
- ☐ 全く求められていない
- ☐ わからない



3-2. 再編後に設置される以下のA～Fの専攻・コースの修了生について、貴機関において採用したい程度を次の1.～4.のうちから選択してください。
採用の可能性がない等の理由で1～4が当てはまらない場合は、「5. 該当なし」を選択してください。

各課程・コースについては以下をご参照ください。



医学履修課程

豊かな学識・教養、高度な専門的知識、総合知を活用して医学・医療を学際的に発展させる能力を有し、自立して独創的な研究を遂行・指導することができ、社会的ニーズを俯瞰的視野で踏まえつつ、高い倫理観と強い責任感を持って医療・医学の発展に貢献し、高度な国際的視野とコミュニケーション力で世界の研究を先導する人材を育成

医科学コース

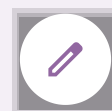
基礎医学、臨床医学、障害科学、保健学等の専門知識と学際的視野を併せ持ち、国際性と高い倫理観を有し、多職種連携の中で医科学研究を推進できる人材を育成

看護学コース

看護学の教育・研究者及び保健師・助産師を養成するとともに、高度実践看護師の養成も行う

公衆衛生学コース

公衆衛生学の専門知識と研究手法を習得し、人々の健康増進と疾病予防に貢献できる公衆衛生専門家を養成。公衆衛生学修士（Master of Public Health）の取得を目的とする



★

1. 積極的に採用したい 2. ある程度採用したい 3. あまり採用したくない 4. 全く採用したくない 5. 該当なし

A) 前期2年の課程 医科学コース

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

B) 前期2年の課程 看護学コース

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

C) 前期2年の課程 公衆衛生学コース

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

D) 後期3年の課程 医科学コース

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

E) 後期3年の課程 看護学コース

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

F) 医学履修課程（4年の課程）

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

3-3. 専攻再編構想全般に関して、ご意見がありましたらお書きください。

回答を入力

3-4. 東北大学大学院医学系研究科の修了生にどのようなことを期待しますか。ご自由にお書きください。

回答を入力

質問は以上となります。
ご協力いただきありがとうございました。



組織再編：4専攻から1専攻体制への再編

現 在

各専攻の学問体系に基づいた
高度な教育研究を実践

4専攻18講座

医科学専攻

9 講座

障害科学専攻

1 講座

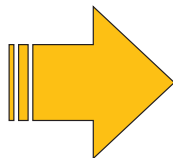
保健学専攻

6 講座

公衆衛生学専攻

2 講座

組織再編の実施
2027年4月(予定)



再 編 後

学際性や総合知を土台に専門教育を行い、
社会的要請に応える人材を育成

1専攻5講座

総合医学専攻

5 講座

医学履修課程
医科学コース

臨床医学講座

基礎医学講座

創生応用医学講座

看護学
コース

看護学
講座

公衆
衛生学
コース

社会
医学
講座

医学系研究科における課題と総合医学専攻の設置

【医学系研究科における課題】

- ・専攻間の壁により学際的な教育・研究の展開が困難
- ・医療AI・ビッグデータ活用を担う人材育成体制の強化が必要
- ・分野横断的技術融合を推進する教育プログラムが不足
- ・研究倫理・情報管理の徹底教育が必要
- ・研究医養成の強化の遅れ
- ・国際的視野を持つ人材育成体制の強化が必要



**社会的要請に応え次世代の医学・医療を担う優れた人材を育成するためには、
現行の4専攻を「総合医学専攻」の1専攻体制に再編し、大学院における教育
内容を改革することが必要**

- ・本再編は、東北大学の建学理念である「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」に基づくもの
- ・本学高等大学院機構による横断的融合教育の推進や、国際卓越研究大学としての研究力強化と人材育成の加速にも合致

総合医学専攻の設置(1専攻体制)により期待できる5つの効果

学際性の強化

専攻の壁を取り払うことで、基幹分野の専門性維持と学際的教育・研究の両立による人材育成が可能

総合知の涵養

基盤科目・総合科目（医療AI・ビッグデータ活用等に関する科目の開講）の設置により、複雑な社会的課題に総合知をもって対応できる人材育成が可能

国際性の向上

国際的視野とコミュニケーション能力を育む教育プログラムの充実により、グローバルに活躍できる人材育成が可能

研究医養成の強化

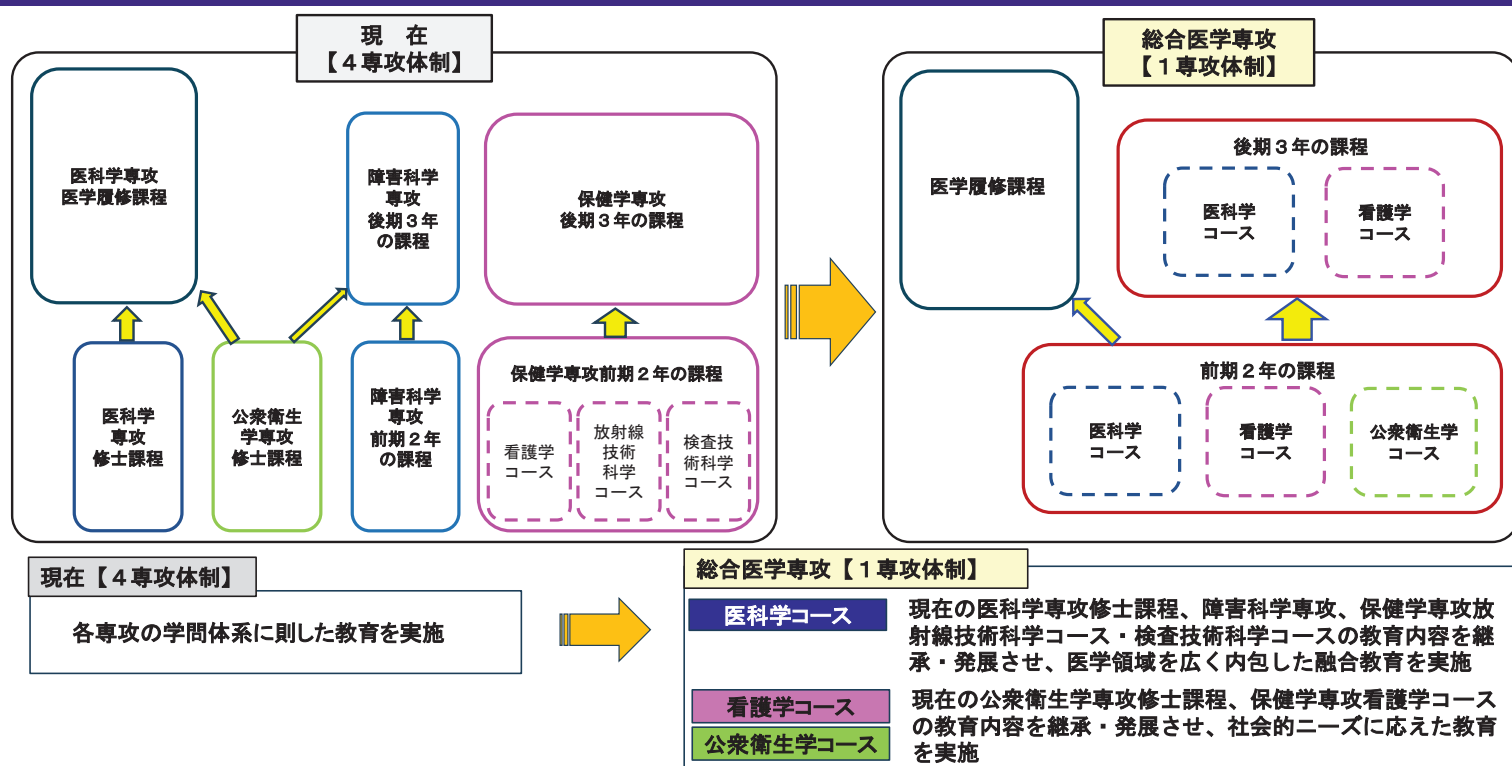
専門医学知識と周辺学問領域を統合した教育プログラムを構築することにより、研究医養成の強化が可能

教育の質向上

科目体系の整理と大学院教育センターの設立により、戦略的な教育活動の展開と質保証が可能

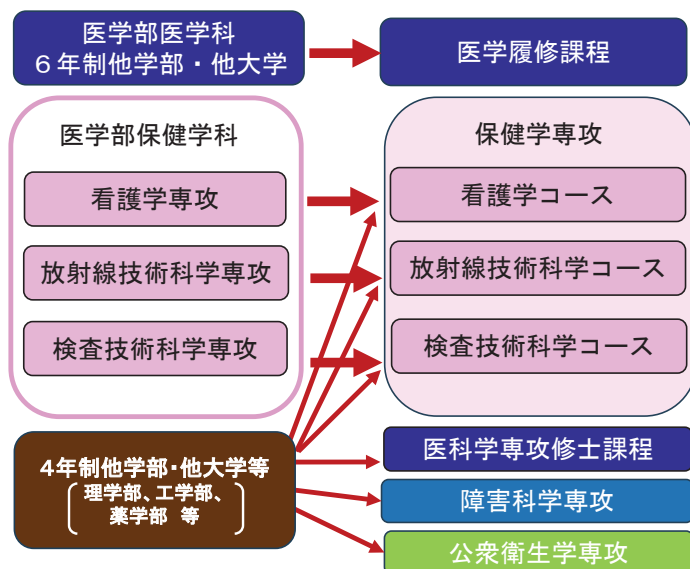
これらの効果を土台に、本学がこれまで培ってきた高度な専門教育を更に継承・発展させる

医学系研究科の組織再編（移行図）

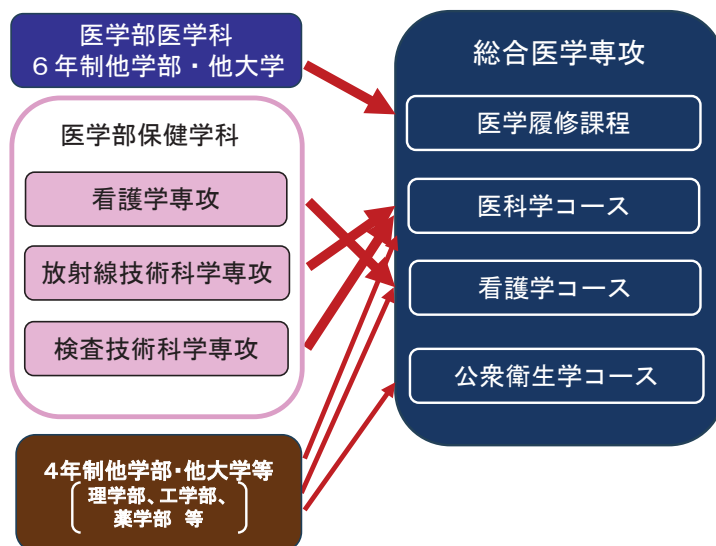


組織再編後の教育研究体制（学部との連携）

【 現 在 】



【 再編後 】



- ・ 総合医学専攻は既存の医学部（医学科、保健学科）を基盤として構成する
- ・ 医学部はもとより、本学他学部、他大学、社会人等多様なバックグラウンドを持つ人材を広く積極的に受け入れ、大学院における学際化・国際化を加速する

総合医学専攻における各コース等の概要①

前期 2 年の課程

コース名等 【学 位】	コース概要	想定される修了後の進路
医科学コース 【修士（医科学）】	・ 基礎医学、臨床医学、障害科学、保健学等の専門知識と学際的視野を併せ持ち、国際性と高い倫理観を有し、多職種連携の中で医科学研究を推進できる人材を育成 ・ 医学領域を広く内包することにより、高度な専門教育に加えて多面的な融合教育・先導的な学際教育を行う ・ <u>現行の医科学専攻修士課程のみならず、障害科学専攻、保健学専攻放射線技術科学コース及び検査技術科学コースの教育内容も継承し、更に発展させる</u>	後期 3 年の課程への進学、医療機関、国内外学術研究機関等
看護学コース 【修士（看護学）】	・ 看護学の教育・研究者及び保健師・助産師を養成するとともに、高度実践看護師の養成も行う ・ 現行の保健学専攻看護学コースの教育内容を継承・発展させる	後期 3 年の課程への進学、医療機関、保健機関、教育・研究機関等
公衆衛生学コース 【修士（公衆衛生学）】	・ 公衆衛生学の専門知識と研究手法を習得し、人々の健康増進と疾病予防に貢献できる公衆衛生専門家を養成。公衆衛生学修士（Master of Public Health）の取得を目的とする ・ 現行の公衆衛生学専攻修士課程の教育内容を継承・発展させる	後期 3 年の課程や医学履修課程への進学、保健行政機関、医療機関、国際研究機関等

総合医学専攻における各コース等の概要②

後期3年の課程

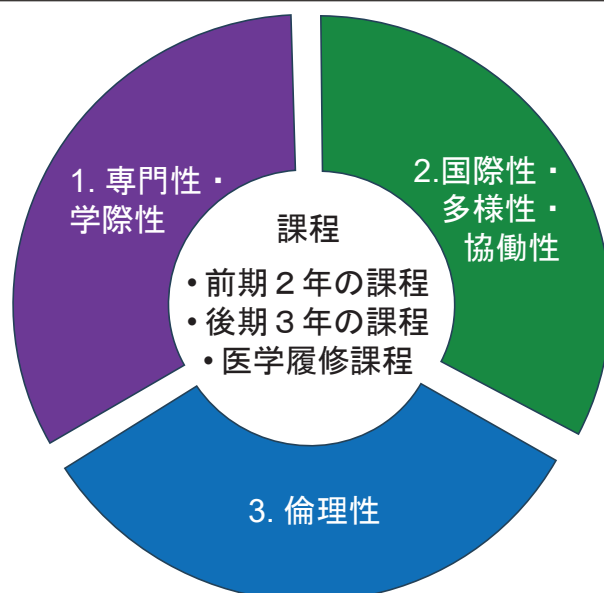
コース名等 【学位】	コース概要	想定される修了後の進路
医科学コース 【博士（医科学）】	- 医学の先端領域を開拓し、学際的な研究チームを牽引できる能力を持ち、国際的な研究ネットワークの中で活躍できる高い倫理観を持った人材を育成 - 医学領域を広く内包することにより、高度な専門教育に加えて多面的な融合教育・先導的な学際教育を行う - 現行の障害科学専攻、保健学専攻放射線技術科学コース及び検査技術科学コースの教育内容を継承・発展させる	大学・研究機関での教育研究職、医療機関での研究指導者、企業の研究開発部門のリーダー等
看護学コース 【博士（看護学）】	- 看護実践の科学的基盤を構築し、高い倫理観を持ちつつ国際的な視野で看護研究・看護教育を牽引する人材を養成する - 現行の保健学専攻看護学コースの教育内容を継承・発展させる	看護系大学・研究機関での教育研究職、医療機関での研究・教育指導者、国際研究機関等

医学履修課程

コース名等 【学位】	コース概要	想定される修了後の進路
医学履修課程 【博士（医学）】	豊かな学識・教養、高度な専門的知識、総合知を活用して医学・医療を学際的に発展させる能力を有し、自立して独創的な研究を遂行・指導することができ、社会的ニーズを俯瞰的視野で踏まえつつ、高い倫理観と強い責任感を持って医療・医学の発展に貢献し、高度な国際的視野とコミュニケーション力で世界の研究を先導する人材を育成	医療機関・国際機関における医療のエリート人材、一流大学・研究機関における研究・教育部門のリーダー等

総合医学専攻で養成する人材像

高度な専門的知識・技術と学際的で多彩な知を合わせ持つ人材、多様化・専門化する医療の一線で世界を視野に活躍できる高度専門医療人、高い倫理観を持って次世代の医学・医療を推進する研究者や研究医の育成を行う



全課程・コースにおいて、カリキュラム・ポリシーの中核は

- 「1. 専門性・学際性」
- 「2. 国際性・多様性・協働性」
- 「3. 倫理性」

である

総合医学専攻における教育課程

特色：学際的視点の涵養と総合知の土台を形成する教育課程

高度な先進技術と深いリサーチマインドを持ち、世界をリードする医学研究者

俯瞰的視野と高い課題対応能力を持ち、一線で活躍する医療人

世界を舞台に次世代のアカデミアを築く人材

産学官と連携し、独創力とリーダーシップを持った人材

【基盤科目】：研究の土台となる知識を幅広く身につける

→医学・医療及び関連する周辺学問領域を理解する「学際医学」、世界の大学をオンラインで結び幅広いトピックスで知識や考え方を学ぶ「Meet the Professor」等の授業科目を開講

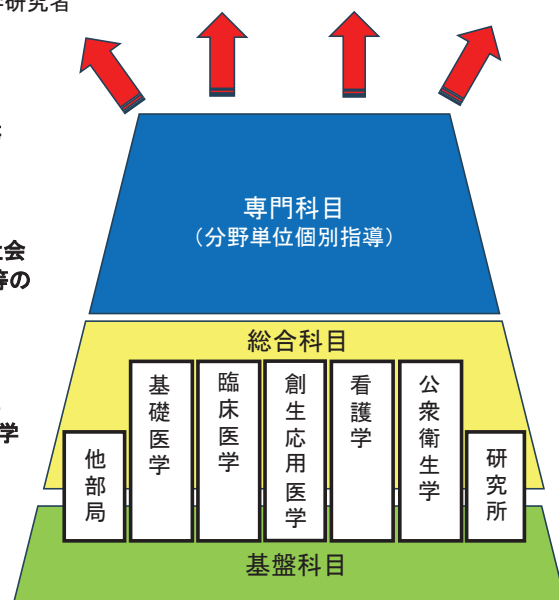
【総合科目】：社会課題を解決する実践力を育成する

→産学連携に必要な知識・倫理・精神を学ぶ「医学イノベーション創出」、成果を社会還元するための起業に必要な精神や行動様式を学ぶ「アントレプレナーシップ」等の授業科目を開講

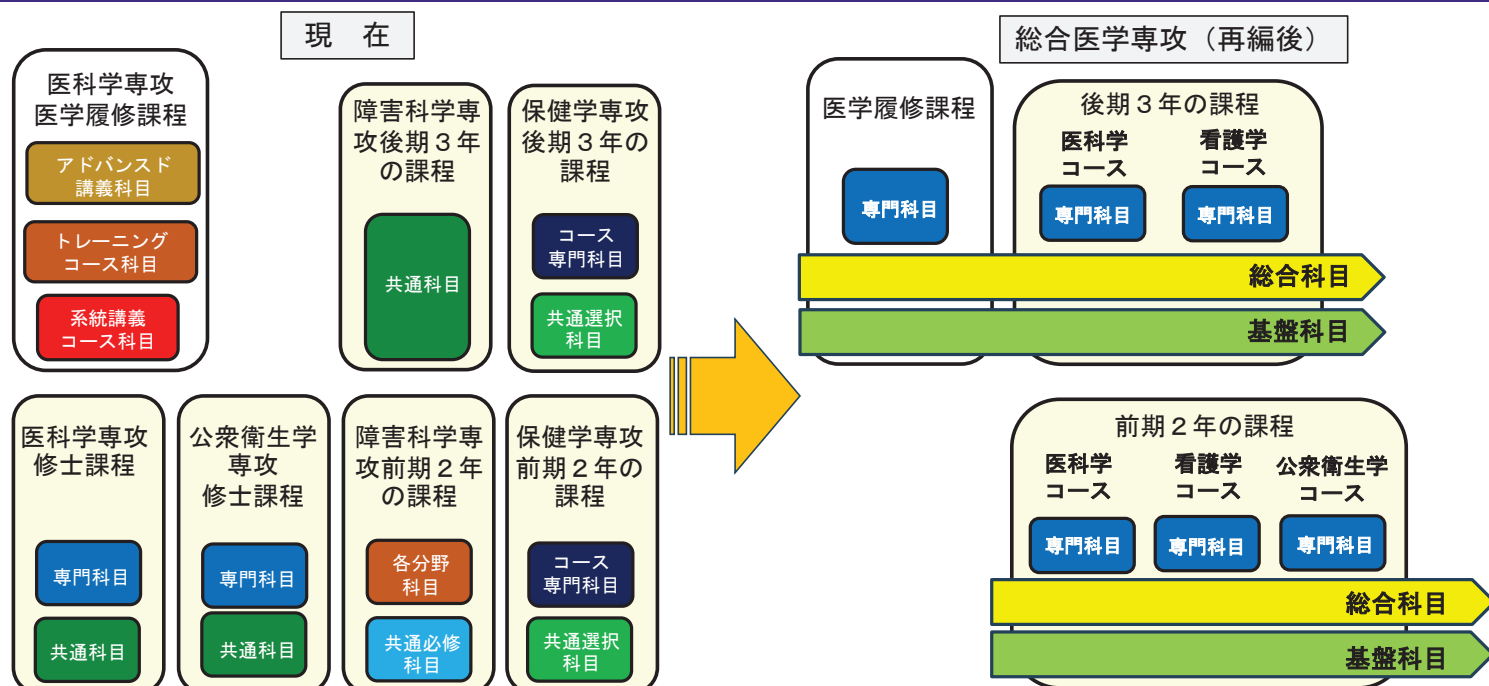
【専門科目】：各研究領域の深い専門教育を実践する

→医療を取り巻く制度について概観し国際比較を通じて我が国の医療の諸問題を理解する「医療管理学」、様々な領域の先進的な医学・医療をゼミ形式で学ぶ「先進医学ゼミ」等の授業科目を開講

全ての大学院学生が基盤科目と総合科目を共修することで分野横断的な学際教育を実現



統一性のある教育課程



- ・専攻間、課程間で独自であった科目体系を「基盤科目」「総合科目(新設)」「専門科目」に統一
- ・専門科目は課程内共通／医学履修課程の専門科目は、後期3年の課程の専門科目を含む

前期2年の課程：主な開講科目①

区 分	開講科目 (※注. 科目名称は今後変更となる可能性あり)	概要
基盤科目	医療倫理学Ⅰ	医学・医療において必要な倫理を学ぶ
	学際医学Ⅰ-I, Ⅰ-II 【新設】	医学・医療及び関連する周辺学問領域を理解する
	医学教養 【新設】	学内他部局の支援を得て、「学際医学概論」より 広く文理融合的教養を学ぶ
	Meet the ProfessorⅠ-I, Ⅰ-II 【新設】	世界の大学とオンラインで結び、幅広いトピックスで知識や考え方を学ぶ
総合科目	Topics and DiscussionⅠ-I ～Ⅰ-VIII	毎回異なる医学トピックスに対し、完全英語での小グループ討論を行う
	ネットワーキング演習Ⅰ 【新設】	協働性を高めるために、様々な教官とともにネットワーキング力を養う
	メンタルヘルスケアⅠ 【新設】	メンタルヘルスケアの重要性を理解し、コーチング的思考を身につける
	医学AI演習Ⅰ-I, Ⅰ-II	医療分野における人工知能の基本について学ぶとともに、自ずからシステムを作成し、理解を深める。
	プレゼンテーション・情報倫理Ⅰ 【新設】	研究成果を社会に正しく強く発信できるように、高い倫理性を持った情報発信能力を身につける

基盤科目・総合科目は学際性に富んだ様々なテーマを扱う。

前期2年の課程：主な開講科目②

区 分	開講科目 (※注. 科目名称は今後変更となる可能性あり)	概要
専門科目	コース共通	先進医学ゼミⅠ-I, Ⅰ-II 【新設】
	医科学コース	基礎医学Ⅰ, Ⅱ
		臨床障害学 【新設】
		検査医科学Ⅰ, Ⅱ
	看護学コース	看護学研究方法論
		Academic Skills in NursingⅠ, Ⅱ
	公衆衛生学コース	医療管理学
		環境医学

- 現在4専攻で行われている各領域の専門科目は、コースごとの専門科目に再配置した上で、更に高度な専門教育を発展させる。専門科目は「コース共通」「医科学コース」「看護学コース」「公衆衛生学コース」に区分される。
- 看護学コースや公衆衛生学コースでは国家資格取得のために習得すべき科目が十分に含まれている。

後期 3 年の課程：主な開講科目

区 分		開講科目 (※注. 科目名称は今後変更となる可能性あり)	概要
基盤科目		医療倫理学Ⅱ	医学・医療において必要な倫理を学ぶ
		学際医学Ⅱ-I, Ⅱ-II【新設】	医学・医療及び関連する周辺学問領域を理解する
		医学ダイバーシティⅡ【新設】	ダイバーシティの理解を深め、医学と社会科学の知を融合させる
		研究推進・研究倫理ゼミⅠ	医学研究者が必要な技術を広く習得すると同時に、社会から求められる倫理規範を学ぶ
総合科目		アントレプレナーシップⅡ【新設】	成果を社会に還元するための「起業」に必要な精神や行動様式を身につける
		医学AI演習Ⅱ-I, Ⅱ-II	医療分野における人工知能の役割とその基盤技術である機械学習の基本概念・技術について学ぶ
		医学イノベーション創出Ⅰ【新設】	産学連携を行うに必要な知識、倫理、精神を身につける
専門科目	コース共通	先進医学ゼミⅡ-I～Ⅱ-III【新設】	様々な領域の先進的な医学・医療をゼミ形式で学ぶ
	医科学コース	感染症とヒューマンセキュリティ/ アドバンスト感染症Ⅰ	感染症アウトブレイクに関し、ケーススタディなどを通して、国際的な対応に関する演習を行う(英語授業)
	看護学コース	基礎・健康開発看護学 セミナーⅠ-I, Ⅰ-II	看護学研究を発展的に行うために、学生自らデータの分析解釈を行うことのできる能力を獲得する

医学履修課程：主な開講科目

区 分		開講科目 (※注. 科目名称は今後変更となる可能性あり)	概要
基盤科目		医療倫理学Ⅲ	医学・医療において必要な倫理を学ぶ。
		研究推進・研究倫理ゼミⅡ	医学研究者が必要な技術を広く習得すると同時に、社会から求められる倫理規範を学ぶ。
総合科目		医薬開発Ⅱ	医薬開発を目指した基礎研究、質のよい臨床試験を実践するための、基礎知識、倫理、方策を学ぶ。
		医学AI演習Ⅲ-I, Ⅲ-II	医療分野における人工知能の役割とその基盤技術である機械学習の基本概念・技術について学ぶ。
		医学イノベーション創出Ⅱ【新設】	産学連携を行うに必要な知識、倫理、精神を身につける。
		研究倫理・研究インテグリティⅢ【新設】	研究倫理に関する課題について演習形式で取り組み、研究の健全性、公正性を遵守する実践力を高める。
専門科目		先進医学ゼミⅢ-I～Ⅲ-IV【新設】	様々な領域の先進的な医学・医療をゼミ形式で学ぶ。
		医療機器トレーニング	医療機器を理解し開発するために、医療機器仕組みや使用法について理解する。
		国際交流セミナーⅠ～Ⅳ	国際的にすぐれた研究者のセミナーに参加し、知識の涵養と研究推進に求められる思考法を学ぶ。

履修指導・修了要件

課程	履修指導	修了要件
前期2年の課程	- 基盤科目17科目、総合科目20科目、専門科目217科目（コース共通3科目、医科学コース100科目、看護コース専門科目69科目、公衆衛生学コース専門科目45科目）を開講予定 - 看護学コースや公衆衛生コースでは、専門科目として資格取得に必要となる科目も提供 - 専門科目は各コースの専門科目の履修を基本とするが、所属コースに関わらず履修は可能 - 指導教員と相談のうえ各自履修科目を選択	2年以上在籍し、基盤科目4単位以上、総合科目2単位以上、専門科目20単位以上、合計30単位以上取得し、論文等審査及び最終試験に合格すること
後期3年の課程	- 基盤科目19科目、総合科目23科目、専門科目32科目（コース共通4科目、医科学コース21科目、看護コース専門科目7科目）を開講予定 - 専門科目は各コースの専門科目の履修を基本とするが、所属コースに関わらず履修は可能 - 指導教員と相談のうえ各自履修科目を選択	3年以上在籍し、基盤科目1単位以上、総合科目1単位以上、専門科目14単位以上、合計17単位以上取得し、論文等審査及び最終試験に合格すること
医学履修課程	- 基盤科目19科目、総合科目23科目、専門科目91科目を開講予定 多様な背景や目的をもつ学生に対して高い専門教育を行う科目を提供 - 指導教員と相談のうえ各自履修科目を選択	4年以上在籍し、基盤科目4単位以上、総合科目1単位以上、専門科目18単位以上、合計30単位以上取得し、論文等審査及び最終試験に合格すること

各課程・コース毎の履修モデル

前期2年の課程：履修モデル①

履修例：医科学コース

- ・民間の関連業界の研究者を目指す例

(1) 対象の学生

4年制大学を卒業した者

(2) 目標進路

医学・医療に関連する企業・学術機関の研究・企画・開発部門などで国際レベルの活躍ができる人材となる。博士課程前期2年の課程修了後は医薬品開発会社、学術研究機関等に就職する。あるいは博士課程後期3年の課程に進学し、より高度で専門的な研究者となる。

(3) 論文課題の例

大腸癌における新たな転移機構の解明

(4) 履修科目（右）

(5) 履修内容の説明

4年制大学を卒業し、すぐ入学した学生の履修例である。基盤科目において医学・医療に携わる研究者としての基盤を多面的に養い、総合科目では国際的視野に立ってリーダーシップを発揮する素地を作る。専門科目では高度な専門的知識と先端技術を身につけ、研究・医療の最前線で活躍できる実践的な能力を養う。そのうえで、所属する分野の専任教員の指導のもとで修士論文を作成する。

履修科目例（予定）

科目区分	授業科目	単位数
基盤科目	医療倫理学Ⅰ（必修）	1
	学際医学Ⅰ-I（必修）	1
	医学教養	1
	Meet the ProfessorⅠ-I	1
	東北大学大学院共通科目Ⅰ	1
総合科目	Topics and DiscussionⅠ-I（必修）	1
	アントレプレナーシップⅠ	1
	ネットワーキング演習Ⅰ	1
	研究倫理・研究インテグリティⅠ	2
	論文研究Ⅰ（コース共通）（必修）	10
専門科目	先進医学ゼミⅠ-I（コース共通）	2
	基礎医学Ⅰ（医科学コース）	1
	医用動物学（医科学コース）	2
	データ管理学（医科学コース）	2
	ゲノム医学（医科学コース）	1
	内科学（医科学コース）	1
	外科学（医科学コース）	1
合計		30

前期2年の課程：履修モデル②

履修例：看護学コース

- ・看護師資格を持ち、高度な実践を行う看護師、もしくは教育者・研究者を目指す例

(1) 対象の学生

看護師資格を持つ者

(2) 目標進路

高度な実践を行う看護師として医療機関や行政などで活躍できる人材となる。博士課程前期2年の課程修了後は医療機関や行政に就職する。あるいは博士課程後期3年の課程に進学し、看護系大学の教育者・研究者となる。

(3) 論文課題の例

終末期がん患者の痛みがQOLに与える影響

(4) 履修科目（右）

(5) 履修内容の説明

看護系大学を卒業し、数年の臨床経験を経て入学した学生の履修例である。基盤科目において医学・医療に携わる研究者としての基盤を多面的に養い、総合科目では国際的視野に立ってリーダーシップを発揮する素地を作る。専門科目では看護学の実践および研究に関する高度な専門的知識を身につけ、高度な実践を行う看護師としての素養を養うとともに、看護学研究を実際に行う知識や技術を養う。そのうえで、所属する分野の専任教員の指導のもとで修士論文を作成する。

履修科目例（予定）

科目区分	授業科目	単位数
基盤科目	医療倫理学Ⅰ（必修）	1
	学際医学Ⅰ-I（必修）	1
	医学統計学（入門）Ⅰ	1
	災害医学特論Ⅰ	2
	Topics and DiscussionⅠ-I（必修）	1
総合科目	ネットワーキング演習Ⅰ	1
	メンタルヘルスケアⅠ	1
	論文研究Ⅰ（コース共通）（必修）	10
専門科目	医療教育論（看護学コース）	2
	看護学研究方法論（看護学コース）	2
	Academic Skills in NursingⅠ（看護学コース）	2
	Academic Skills in NursingⅡ（看護学コース）	2
	緩和ケア看護学特論Ⅰ（看護学コース）	2
	緩和ケア看護学特論Ⅱ（看護学コース）	2
	合計	30

前期2年の課程：履修モデル③

履修例：公衆衛生学コース

- MPHを取得し、公衆衛生領域の研究者を目指す例

(1) 対象学生

4年制の大学を卒業した者（6年制の学科を卒業した者も可能）

(2) 目標進路

公衆衛生領域において国際レベルで活躍できる研究者・指導的人材となる。本修士課程修了後は、教育研究機関などに就職する。あるいは博士課程に進学してさらに高度な学術的専門性を修得する。

(3) 論文課題の例

中高年期における生活習慣の変化が要介護認定リスクに及ぼす影響に関する前向きコホート研究

(4) 履修科目（右）

(5) 履修内容の説明

医学部・歯学部以外の大学を卒業し、すぐ入学した学生の履修例である。基盤科目において公衆衛生の素養を学習する。医療倫理学や学際医学はもとよりその学生は疫学研究者となることを目指している。疫学概論に加えて、統計解析やデータ管理に関する科目を履修し、疫学の応用でもあるEBM（根拠に基づく医学）の講義と演習を選択履修する。そのうえで、所属する分野の専任教員の指導のもとで修士論文を作成する。

履修科目例（予定）

科目区分	授業科目	単位数
基盤科目	医療倫理学Ⅰ（必修）	1
	学際医学Ⅰ-Ⅰ（必修）	1
	医学教養	1
	Meet the ProfessorⅠ-Ⅰ	1
	国際学会参加成果評価Ⅰ	1
	医学データ解析Ⅰ	1
	医学統計学Ⅰ	1
総合科目	Topics and DiscussionⅠ-Ⅰ（必修）	1
	疫学研究デザイン	1
専門科目	論文研究Ⅰ（コース共通）（必修）	10
	中間審査（コース共通）	2
	疫学概論（公衆衛生学コース）	1
	保健医療福祉情報ネットワーク論（公衆衛生学コース）	1
	データ管理学Ⅱ（公衆衛生学コース）	2
	EBM概論（公衆衛生学コース）	1
	EBM演習（公衆衛生学コース）	2
	医療管理学（公衆衛生学コース）	1
	環境医学（公衆衛生学コース）	1
合計		30

後期3年の課程：履修モデル①

履修例：医科学コース

- 学術研究関連の研究者を目指す例

(1) 対象学生

医学系博士課程前期2年の課程修了者

(2) 目標進路

理学療法士養成校で教員となり理学療法士の学部学生の教育を行いつつ、歩行動作解析の国際共同研究を主導するグループの立ち上げを行う。また、毎年半年間海外の理学療法士養成校に滞在研究する。

(3) 論文課題の例

封入体筋炎患者の歩行パターンの経年的変化とその介入

(4) 履修科目（右）

(5) 履修内容の説明

本学総合医学専攻医科学コース博士課程前期2年の課程を修了して入学した学生の履修例である。基盤科目において医学・医療に携わる研究者としての発展的な知識・技術を養い、総合科目では国際的視野に立ってリーダーシップを発揮する能力を養う。専門科目では医科学研究を実際に行う知識や技術を養う。そのうえで、所属する分野の専任教員の指導のもとで博士論文を作成する。

履修科目例（予定）

科目区分	授業科目	単位数
基盤科目	医学統計Ⅰ	2
	医学ダイバーシティⅡ	1
総合科目	Topics and DiscussionⅡ-Ⅱ	1
専門科目	論文研究Ⅱ（コース共通）（必修）	10
	先進医学ゼミⅡ-Ⅰ（コース共通）	2
	運動学Ⅰ（医科学コース）	2
合計		18

後期3年の課程：履修モデル②

履修例：看護学コース

- ・看護師資格を持ち、看護系大学の教育者・研究者を目指す例

(1) 対象の学生

看護師資格を持ち、総合医学専攻看護学コース博士課程前期2年の課程修了者

(2) 目標進路

- 看護系大学の教育者・研究者、もしくは企業等の看護学の専門知識・技術を持った研究者

(3) 論文課題の例

終末期がん患者の痛みに対するアロマセラピーの有効性を評価するランダム化比較試験

(4) 履修科目（右）

(5) 履修内容の説明

本学総合医学専攻看護学コース博士課程前期2年の課程を修了して入学した学生の履修例である。基盤科目において医学・医療に携わる研究者としての発展的な知識・技術を養い、総合科目では国際的視野に立ってリーダーシップを発揮する能力を養う。専門科目では看護学研究を実際に行う知識や技術を養う。そのうえで、所属する分野の専任教員の指導のもとで博士論文を作成する。

履修科目例（予定）

科目区分	授業科目	単位数
基盤科目	学際医学Ⅱ-I	1
総合科目	Topics and DiscussionⅡ-III	1
	医学研究方法論Ⅰ	2
専門科目	論文研究Ⅱ（コース共通）（必修）	10
	家族支援看護学セミナーⅠ-I（看護学コース）	2
	家族支援看護学セミナーⅠ-II（看護学コース）	2
合計		18

医学履修課程：履修モデル

履修例

- ・世界で活躍する基礎医学研究者を目指す例

(1) 対象学生

医学部医学科の卒業生

(2) 目標進路

国内外の一流学術研究機関において、自立して独創的な医学研究を展開し、世界の医学・医療の発展をリードする研究医となる。

(3) 論文課題の例

発癌を引き起こす新規遺伝子変異の解明

(4) 履修科目（右）

(5) 履修内容の説明

医学部を卒業して大学院博士課程に入学した学生の履修例である。基盤科目において国際的視野に立ったリーダーシップを養い、総合科目、専門科目において医学・医療に関する発展的な知識・技術を身につける。そのうえで、所属する分野の専任教員の指導のもとで博士論文を作成する。

履修科目例（予定）

科目区分	授業科目	単位数
基盤科目	学際領域トレーニングⅡ	5
	国際学会参加成果評価Ⅲ	1
総合科目	医薬開発Ⅱ	2
	プレゼンテーション・情報倫理Ⅲ	1
専門科目	論文研究Ⅲ（必修）	10
	分子医科学Ⅱ	2
	分子イメージング特論	2
	TRトレーニングⅠ	6
	国際交流セミナーⅠ	1
合計		30

各課程・コース毎の養成する人材像とポリシー

前期2年の課程

養成する人材像	必要とする具体的な能力	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
医科学コース				
医学・医療の基礎的知識と先端技術を身につけ、医学・医療の複雑な課題に対応できる研究者や高度専門職業人を養成する。	1. 医科学の専門知識・実験技術と学際的視野	1. 医学的専門知識・技能と豊かな学際的知識を身につけ、科学的視点から論理的な思考をすることができ、自ら課題を発見し解決して、研究成果を発表することができる。	1. 最先端の医学的知識・手法を学ぶための科目群、基礎となる幅広い知識を学際的に身につけるための科目群を開講するとともに、高度専門技術の獲得を可能にする実践の場を提供する。	外部検定試験スコアによる英語力の評価と、専門的知識・思考能力・志望動機・適性並びに出願書類の記載内容を評価する口頭試問を行い、医学・医療の発展に貢献する研究者若しくは教育者を旨とする人物を重視して選抜を行う。
	2. 国際性と多職種連携のためのコミュニケーション能力	2. 国際的視野を持ち、多様な価値観を理解・尊重、そして包摂し、他者との信頼関係を築いて協働することができる。	2. 共通科目、総合科目により、他者との信頼関係を築き、協働できる力を涵養する。英語で議論する能力を身につけるための科目や、多様な価値観を理解・尊重する能力を身につけるための科目を開講する。	
	3. 研究実施に必要な倫理観	3. 高度な倫理観を身につけた医療人として、教育・研究・医療機関等で期待される役割に応じて教育および研究を実践することができ、研究成果を社会に還元する態度を有する。	3. 倫理に関する科目群を開講し、社会における責任を自覚し倫理観に基づいて行動できる力を養成する。	
看護学コース				
看護学の教育・研究者及び保健師・助産師、高度実践看護師の養成を行う。	1. 深い専門的知識、看護実践能力と学際性	1. 看護学に関する深い専門的知識と看護実践能力、学際性を有し、科学的視点から看護の現象を説明することができる。看護学研究に関する十分な知識・技術を備え、看護学の発展に寄与する独創的な研究を遂行できる。	1. 共通科目・総合科目・専門科目を通して最先端の看護学の知識や技術、幅広い学際的領域等を学ぶ機会を提供し、高度な看護研究を実践する能力を涵養する。また保健師・助産師・高度実践看護師の養成カリキュラムを提供する。	
	2. 保健・医療・福祉における国際性とリーダーシップ	2. 国際性やリーダーシップを育み、保健・医療・福祉の発展に貢献できる。	2. 国際性、多様性にあふれた科目群を開講するとともに、コミュニケーション能力や課題解決力を涵養する修学環境を提供する。	
	3. 看護専門職としての倫理的判断力	3. 看護職として高い倫理観を持ち、それを個々の患者・家族のケアやチーム医療の場で発揮できる。	3. 生命倫理・看護倫理・研究倫理等について学ぶ機会を提供し、看護職としての高い倫理観を育む。	
公衆衛生学コース				
公衆衛生学の専門知識と研究手法を習得し、人々の健康増進と疾病予防に貢献できる公衆衛生専門家を養成する。	1. 公衆衛生学の専門知識・分析手法能力と豊かな学際的知識	1. 専門的知識・技能、学際的視点、バランス感覚を有し、公衆衛生に関わる問題を自ら解決できる。	1. 公衆衛生の基幹5学問分野に加え、学際性に富んだ共通科目・総合科目、EBM(Evidence-based medicine)手法や最先端の医学研究・医療技術を学ぶ機会を提供する。	
	2. 国際的・多領域的な連携能力	2. 国際的視野と優れたコミュニケーション能力を有し、多様性を尊重しながら他分野と協働できる。	2. 国際性に富んだ科目や協働性を高める科目を提供するとともに、文化多様性を涵養する。	
	3. 高い倫理観と人権意識	3. 高い倫理性と人権意識を持って次世代の医療・医学・公衆衛生を推進できる。	3. 倫理・人権教育を実施し、医学研究や医療を遂行するために必要な倫理観を育む。	

後期 3 年の課程

養成する人材像	必要とする具体的な能力	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
医科学コース				
医学全般における高度な専門知識と研究能力を持ち、世界水準の独創的な研究を自立して遂行できる研究者や教育者を養成する。	1. 高度な専門性と広い学際的知識による独創的で世界水準の研究力	1. 高度な医学的専門知識・技能や豊かな総合知を身につけ、次世代医療の実現に向けた社会的ニーズを踏まえつつ独創的な研究を遂行できる。	1. 研究推進に必要な専門科目や学際的科目を多く提供し、専門的な知識、技能の獲得と豊かで高度な学識を養う。	外部検定試験スコアによる英語力の評価と、専門的知識・思考能力・志望動機・適性並びに出願書類の記載内容を評価する口頭試問を行い、医学・医療の発展に貢献する研究者・高度専門職若しくは教育者を目指す人物を重視して選抜を行う。
	2. 国際的な研究ネットワークで活躍できる優れた連携能力	2. 国際的視野を持ち、多様な価値観を理解・尊重して、医学研究を主体的に展開できる。また他者との信頼関係を築いて協働し、教育・研究・医療機関等で中核を担うことができる。	2. 国際的コミュニケーション能力を涵養する科目群、多様な価値観を理解・尊重する能力を身につけるための科目群を開講する。また課題解決力を高めるために、演習を重視した総合科目を開講する。	
	3. 研究遂行に求められる高い倫理観	3. 高度な倫理観を身につけた医学研究者・医療人として、医療・福祉の発展に貢献することができる。	3. 正しい研究活動を実践する倫理観を身につけるために必須となる講義科目群を開講する。社会における責任を自覚し、倫理観に基づいて行動できる力を養成する。	
看護学コース				
看護学分野における高度な専門知識と研究能力を持ち、看護学の発展に寄与する世界水準かつ独創的な研究を自立して遂行できる研究者や教育者を養成する。看護実践の科学的基盤を構築し、高い倫理観を持ちつつ国際的な視野で看護研究・看護教育を牽引する人材を養成する。	高度な専門的知識と豊かな学際性を有し、看護学分野の発展に寄与する独創的な研究を自立して遂行できる能力	1. 高度な看護学的専門性と豊かな総合知を身につけ、看護学の発展に寄与する独創的な研究を自立して遂行できる。	1. 学際的科目（共通科目・総合科目）とともに専門科目も多く開講し、世界水準の独創的な看護学研究を自立的に実施するための知識・技術を学ぶ機会を広く提供する。	
	国際的な視野を有し、多分野と協働しながら次世代の看護学をリードできる能力	2. 看護学研究や実践において、国際的にリーダーシップを発揮できる能力を有する。また多分野・多職種と連携しながら看護学の発展に寄与できる。	2. 国際的な視点を高める科目群や、多様な価値観を身につけコミュニケーション能力を高める科目群を提供する。	
	看護学の研究・教育・実践に必要な高い倫理観	3. 高度な倫理観を持ち、看護学研究や看護学教育に取り組む能力を有する。	3. 研究者・教育者として必要な高度な倫理観を養う。	

医学履修課程

養成する人材像	必要とする具体的な能力	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
医学・医療における最先端の専門的知識を身につけ、未知未踏の課題に取り組む強い意欲を持って世界で活躍する基礎医学研究者や真のフィジシャン・サイエンティストを養成する。	1. 医学・医療における最先端の専門知識・研究手法の習得と総合知を生かした独創的な研究能力	1. 専門分野における高い知識・技術や豊かな総合知を活用しながら、独創的な研究を他領域と結びつけて遂行・指導することができる。	1. 国内外の最先端の医学知識・医療技術を学ぶ科目群、領域横断的に知識を学び総合知を育む科目群を提供し、専門性と学際性を涵養する。	外部検定試験スコアによる英語力の評価と、専門的知識・思考能力・志望動機・適性並びに出願書類の記載内容を評価する口頭試問を行い、医学・医療の発展に貢献する研究者・高度専門職若しくは教育者を目指す人物を重視して選抜を行う。
	2. 医学研究・医療実践における国際的リーダーシップと高いコミュニケーション能力	2. 高度な国際的視野とコミュニケーション能力を有し、世界水準の研究成果を発信し、それによって国内外における当該分野の研究を先導することができる。	2. 国際的視野を高める機会、多様性への理解を深める機会、高度なコミュニケーション能力を養成する機会を提供し、強いリーダーシップを涵養する。	
	3. 高い倫理観と社会的責任感に基づく研究推進能力	3. 次世代医療の実現に向けた社会的ニーズを踏まえつつ、高い倫理観と強い責任感をもって学問を推進し、当該分野のリーダーとして医学・医療の発展に貢献することができる。	3. 医療及び研究遂行に求められる高い倫理観を育む科目を提供する。	